

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500332
事業所名	認知症高齢者グループホームどんぐりの森

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	運営推進会議メンバーに校区連絡会メンバーが居り、地域連携のパイプ役を果たしている。「地域福祉の推進」の理念に沿い、施設内多目的ホールを地域に開放し、勉強会など役立てられている。施設内の喫茶コーナーを利用し、『認知症カフェ』を毎週開催し、認知症啓蒙に努めている。中には入所につながる深刻な事例もあった。施設夏祭りには300人の参加があった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議メンバーに校区連絡会メンバーが居り、地域連携のパイプ役を果たしている。「地域福祉の推進」の理念に沿い、施設内多目的ホールを地域に開放し、勉強会など役立てられている。施設内の喫茶コーナーを利用し、『認知症カフェ』を毎週開催し、認知症啓蒙に努めている。中には入所につながる深刻な事例もあった。施設夏祭りには300人の参加があった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	社会福祉協議会とは以前から協力関係にあり、餅つきの道具を借りていたが、今年は自前で調達した。今年度行政と連携して、『認知症カフェ』を、施設内にある喫茶コーナーで開催した。市も手探り状態であったが、協働して開設に漕ぎつけた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	「家族会を開催したい」と管理者は企画しているが、300人が参加した夏祭りには家族も参加した。施設便りは季刊である。「新聞を毎日読む習慣」をアセスメントで聴取した人には施設ポストへ朝採りに行くことから、読み終わったら別ユニットへ新聞を届けることがプラン・実現されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	×	○	○			